

平成 27 年度 北区教育会議 議事要旨

- 1 開催日時 平成 27 年 12 月 8 日（火） 19:00～20:30
- 2 開催場所 北区役所 4 階 402・403 会議室
- 3 出席者 （区役所）古屋区長、北岡副区長、木村区民協働担当課長、平田戸籍登録課長
平岡福祉課長、皆見健康課長、加藤区民協働担当課長代理
（委員）野田委員、大前委員、加藤委員、緒方委員、丸尾委員
藤野委員、岡田委員、島津委員
（学校）倉澤校長（豊崎小学校）高田校長（天満中学校）
（事務局）北区役所地域課区民協働担当
- 4 欠席者 木下委員
- 5 議 事 教育関係施策について
学校適正配置
学校選択制
中学校給食
学校図書館の活用促進
北区の取組について
発達障がいサポート事業
合同演劇鑑賞
熱中症対策のためのミスト配置
今後の取組について

- (1) 区民協働担当課長より、分権型教育行政および「北区教育会議開催要綱」について説明。
- (2) 区民協働担当課長より、教育関係施策について説明。
- (3) 各課長より、北区の取組について説明。

6 主な意見

- ・児童委員の立場から、通学区域外の学校を選んだ児童が、どこの学校に行ったか分からないため成育歴などの情報が伝達できないのはもったいない。個人情報になるが、せめてどこの学校に行ったかだけでも教えてほしい。
- ・クラブ活動を理由に中学校を選択する場合について、クラブが充実している学校に生徒が集中し、どんどん格差が広がってってしまう。その対策は考えているか。
- ・中学校給食について、改善されてきてはいるが、まだまだ残す子どもが多い。運動部に入っている子ども達は特に心配。より一層の改善を求める。
- ・図書館について、補助員が来て本の並び替え等行っているが、そもそも図書館に子どもが来ないので、どんな本を入れてほしいか生徒にアンケートを取るなどしてほしい。
- ・適正配置について、中津南小は 5 年前には減少傾向という見解で統廃合をした結果、ふたを

開けてみたら増加傾向にあり、逆に受入がパンパンの状態になってきている。今後についても、是非長い目で見ていただき、判断をお願いしたい。

- ・統廃合に関連して、小学校は防災の拠点としても非常に重要。タワーマンションができただけで児童数が一気に増えることもある。北区の人口（約 12 万人）を考えると今の学校の数（小 11 校、中 5 校、高 1 校）では、もし実際に災害が起こった時に溢れてしまう。
- ・学校選択制について、学力とクラブで選択をすることが多いと聞いている。クラブについては、昔に比べてクラブの数が減っており、やりたいクラブに入るため、校区外の学校を選択する場合がある。ただ、選択制の場合、受入人数に限りがあるので入りたいクラブの無い学校に行かざるを得なくなってしまうケースがあるのがかわいそう。
- ・何か特色のあるクラブをひとつ持つことも良いのでは。外部講師を招聘するような取り組みなどもできないのか。
- ・中学校のクラブ活動について、学校選択制でクラブを理由に通学区域外の学校を選択した際に、教員の異動でそのクラブがなくなることは大きな問題になるので、異動の見込みに関する情報を共有したり、提供していただけるようになればと思う。